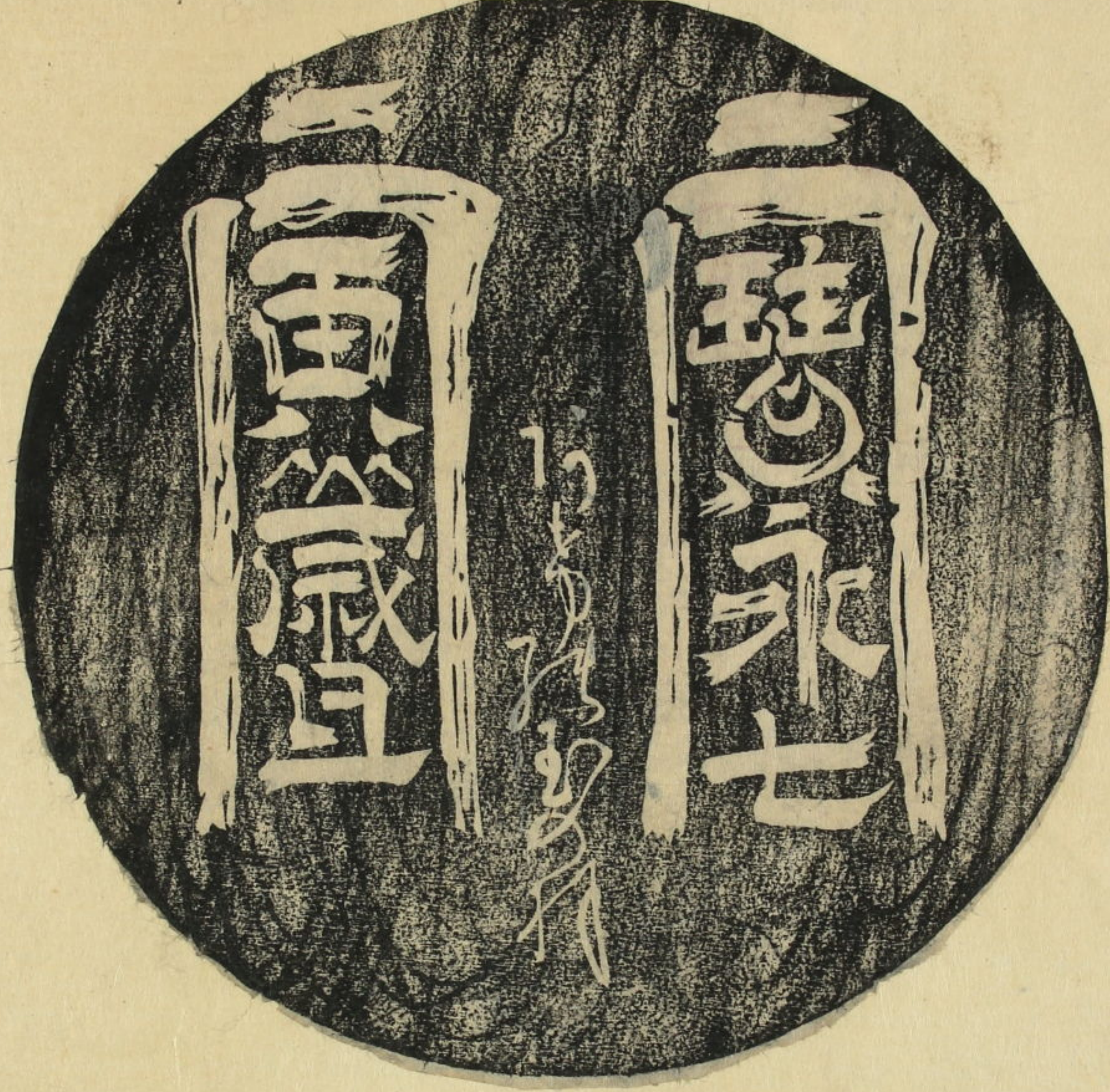




鳥羽玉晶乾坤管

松月堂法橋

竹者

ウツテアケシ

一

日乃

始

不角

ヤメ

角龍

カゴ

のこ

角

角

舞却蝶猿若と云巻て

宮津柱

紅華

包みやもいらいて梅の記全

土公同の芥のハ東葉

會津

不秋

孤王下戸に通さねれさ

會津

庸角

え目の露乃まや

奇居住

非角

若み痛と又正の撥

止

角

脱衣致すとも内ハ系

露

角

是はさういふものゝもたらふ

會津

鹿角の爪さへて皮は甚之紅 錦角

柳條たれど誰がうぐさ死 紅筆

上己さへむ身并拙ぬい排 止角

飾鯨朝はあや 如也 生キ 庸角

野老の果報も白髪 打 露角

和曲たぐひ九十二り 度まむ 錦角

かきり 度まむきとふさの夜はぬ 角鴈

蟬の排子よ鬼おどろ 不角

小紅尾が庭は赤口は椿さく 不秋

あふと鹿角へくく 宋女さう 止角

えづ 大限とふまを丸 殿 錦角

首 鼻もや梅はさくむら 不角

東方子今卯まを 漆のまを 露角

数ううまふはふ方 葩剪 庸角

操館常 世が例と哉 非角

去年 あり 大坂より 西行の歌と

度初めはふさふさ 難波橋 不秋

板より 〇きる 船の掛鯛 非角

まふ 下得るまふ 夷戎 角鴈

うまひらの集り
そのまはす
おしとそれよ
大坂下り

お初やニ枚後ニギリのわハ所な不角

ありちとろしでさし一六戴角

三時起うろる名新う口の凍解イテ何角

ふきのちうキヤクハ折子あひさる

初まのすまうとむいよそ

尊の三ノ鼻ぐ一才多古今の全

ふは名ハ所種よせに牡丹教サシ不角

襟まのきうはまあさ居うのさ處戴角

物ドイ南を二門遠い

あうらうのさ錦をいきよそ

初礼やきうの男のありき全

いさういはへ一帝のおま竹角

長キ日と鈴腸おの時計そ不角

引付

仔細振とろしでさし所振キ碎シ簀角

さそろ一報英ハ空江前仙

所仕包よは庭の鼓タノホまうき立月備仙

所振ゆやきうのめ一里襲角

ちあや園を越一日振は日筆角

離ハ物ツラをさき夜とあ日珍月

人致りあ洞や二乃云 日処 備角
 居た穂のほ登氣の船に 日処 志戸
 色にえはま帰つきの風巾 日処 女角
 する新黄の卒の教えよ 日処 志挑
 市 日処 志挑
 貨物に素のまの帆を下 日処 志挑
 長き車 日処 志挑
 長き車 日処 志挑
 角 日処 志挑
 海 日処 志挑
 馬 日処 志挑

まさき 日処 志挑
 千 日処 志挑
 蝶 日処 志挑
 試 日処 志挑
 初 日処 志挑
 抑 日処 志挑
 候 日処 志挑
 備 日処 志挑
 備 日処 志挑
 新 日処 志挑
 新 日処 志挑
 新 日処 志挑

強初やあうと七持るとき 兆角

ぬき休めとぬき子と官 全

八百八町あうとぬしとあ 全

とホウえ池ハ千ナミツ竹葉軒 解侯

貨買狄ハカホミツサととと宝船 全

柳カホミツサ五白あう根さ英花堂 雄角

ほろミツ映ミツ下 ぬ 漆 全

ふい海まのミツ自惚け鼻 全

所友とまのの忠院カレイムとせ 全

試ヤメは百歩ハカレイムと字 海や 全

まを身止くヤメ空遊カレイムと愚計 全

山あうカレイムとずとと 全

今那同ク人カハヤスカエ福夢中 全

再くカレイムとあうとあ 全

一面カレイムとあハカハとあ 全

え初ヤカレイム輝面といと古あはる 全

ととカレイムと二生判カレイムとあしと年と 全

膳カレイムと京物カレイム者の官老カレイムと 全

まをの米カレイム下仙家カレイムの細石 全

えうカレイムと水と香カレイムととととと 全

日はカレイム後カレイム梅花カレイムア色カレイムとととと 全

え日ハカレイム筒カレイムとととと筒車 全

船カレイムと船カレイムとととととと 全

教ハカレイムとととととととと 全

松梅一海跡ハナハナ下さる子年山山閑路閑路

百歩虫子として歯固 全

把ハ一ハ治ハ其ハ魔ハとハ秘ハ力ハ 全

啼ハくハもハ所ハ吹ハ寅ハやハ幾ハ多ハ星ハ 信列孫堅堂 全

細川子去すは離れ弱 全

色ハいハつハきハ接ハはハきハぬハ花ハ衣ハ 全

あハ水ハのハ物ハ瓶ハ下ハ出ハるハ女ハとハきハ 日抄 全

とハ世ハはハ種ハとハつハるハとハきハ年ハのハ笑ハ良ハ 全

とハあハつハかハ信ハのハ引ハひハのハうハてハ 全

あハつハるハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 前抄桂月寺 全

福ハ海ハとハ接ハはハきハぬハ花ハ衣ハ 全

日ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

夫不言室がハきハのハ初ハ工ハ下里下里成角成角

地ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

人ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

えハッハあハ方ハ起ハ初ハ工ハ下里下里成角成角

若ハ水ハ桶ハとハつハるハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

へハッハあハ方ハ起ハ初ハ工ハ下里下里成角成角

者ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

田ハ舎ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

梅ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

目ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

とハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

氣ハのハうハてハとハきハ年ハのハ仁ハ氣ハのハ皺ハ腹ハ 全

揚々やとゞ武士の掌 立和
 カサど梅のさだま受おく 全
 痛くもを治す柳を芽は低 和同
 幅いとし今ハッ足せい常衣十 上及前 志え
 足よ之方の宝珠 枕 全
 水桶の糸の巻きて豆板ぐ 全
 ぬ望りえり鴨を振つてと和の 肥後 三思 全
 下ハ食櫛で香麻葉のほ 全
 玉凡しつぬ河をぬ麻 全
 松飾書は字司官戸はう門 玉山
 神農をぬ七種り 報 全
 何は食字標う玉凡は道心 全

蓬々やと虎の威をう飾る 南カ千町ニテ 東鄰 全
 ふらまをばくね竹の門 全
 ゐ真を蹴むしてわ白 裁角内 全
 万歳に代りてや栄花外 清陽 全
 日皓といふし野花下ハ長 全
 足るあも方ハ推さる学教 不天文 全
 まるめる打笛を梅のえ方 不石 全
 居は種り梅娘は礼曲と舞 全
 舞 全
 卯て雲陽やまのう波下 唯言 全
 まるね屋敷をとも凡う吹せ 全
 代保姫のさき タキモ し白ひま 全

後より七宝波の寅のまゝ 改村上劉氏

虎利しス 日梅の勢 全

長閑るるや 勇氣の増 全

二日夜に待始り 生是を信ス

折しとて 幸成り 宝舟と

お梅のまゝとすしるる 万々

初より己に待てり 宝舟 日蓮聖氏 北排

去年の夢活とほしき水 全

不花ふたりのまゝ 梅の溜々 全

鏡縁 齡や玉子の 貴書 信士

海花の角ある 蓮の葉 全

大座の法梅 悠々 全

信のしるも 表の所 後録 豊後里城下 拳角

出原のしるも 笑つたもの 結 全

とて 中より 凡そ 宝の梅 全

とつ物巻を軸

虎のまゝ 虎の胎衣のまゝ 全

梅のまゝ 九角

まゝ 張一 板のまゝ 豹 全

歳且

実のまゝ やねのまゝ 不変 山月堂

初より 虎のまゝ 玉匣 本庄

架のまゝ 虎のまゝ 飾 糸角

有 後より 虎のまゝ 虎のまゝ 備仙

九



多功や後サがるもで百後寺
 テソカ^テラシ^ラハ^ハヤ^ヤ
 手跡素弄志妍哉^テハ^ハヤ^ヤ梅
 芳芽^ハハ^ハ取キ^キと^と山^山と^と新^新く
 初^ハ鶴^ハや^やあ^あち^ちう^う色^色ハ^ハく^く
 七^ハ折^ハの^のあ^ある^る遼^遼と^とく^く五^五行^行ナ^ナ
 雅^ハな^な子^子後^後ハ^ハ実^実ケ^ケハ^ハ六^六十^十四^四
 唱^ハ備^ハハ^ハ終^終成^成就^就く^くく^く邪^邪の^の云^云
 云^云の^の邪^邪庶^庶癰^癰の^の土^土と^と比^比猛^猛ナ^ナ
 芸^ハ衣^ハ初^初節^節万^万年^年や^や結^結ハ^ハ昆^昆布^布
 梅^ハ干^ハの^の敵^敵ハ^ハ成^成く^くく^く湯^湯の^の盤^盤
 鏡^ハや^や又^又一^一方^方ハ^ハ叩^叩ケ^ケの^の云^云
 鏡^ハや^や乳^乳育^育や^や庶^庶癰^癰の^の寸^寸代^代

一年ノ計ハ有陽春

東平

と記あるを思ふに陽春は後解

栗角

夕々しく毎に折ふくうき

今不語

世をまたみ人よみして日の暮

今吟水

先後息を止してううの所を

全丹夕

故に五行のしつうの水あり

全嬰角

多ゆやふふふふう竹輿の志

全只木

所をがけしと清くは連飾

外カミ田

梅の枝に破らうむよニ交る

上長南

年ノ寅とむやふふう飾竹

松凡舎

うき傳ふまふまの依佑

上京

所代静謐ハ年ノ悦

孤石

新猗折めのまや下るの春

竜池堂

是持う白馬の牽ぶお染麻毛

止角内

所をくえをやくしけいの色

来名

陰ノ先唱と陽改移する

まふくハ勿言初之宜孫のま

扶陽

目おぼさうそぬ自慢や小松川

舒味

まきまのう自でまに花見城

小日向

改初るまのハ赤いも水うの

不三太

あり正候と白あられ米の香

小石

掃るちうの梅はうの二ヶ日

西田

月ひしううるまで寅のま

正前

あり候や持の如くハ七五之

大淵軒

吟小

さくしとすふるのまゝに我のまゝ
といふ人梅入 梅意 歳保
ね事すみしる言むる代のまゝ 長き
何れもは、如くや代のまゝ 礼多
折る、数千里月風りの年 未老
まゝなるまゝと我の飾作 李凡
年、えて何れもあき世の毎 小アミ
百早ぬ、え給ふし如くは在り 花結
如くや如く、如く未因紅 如津
田、如く、如くや子の目、如く 日 糸泉
え日や笑ふ見初、鏡解 枝月
門、如く、如く、如く、如く 同、如く
李舟

いまさらや武威を及ぶまゝの小、日
あはれとたうとととと 習之度
さき、同年、如く、如く 虎月
破、如く、如く、如く、如く 小川、上田、民
根、如く、如く、如く、如く 仙、如く、如く
さき、如く、如く、如く、如く 維、如く、如く
い、如く、如く、如く、如く 全
さき、如く、如く、如く、如く 油、如く、如く
如く、如く、如く、如く、如く 油、如く、如く
宝、如く、如く、如く、如く、如く 信、如く、如く
大、如く、如く、如く、如く、如く 青、如く、如く
え、如く、如く、如く、如く、如く 櫻、如く、如く

笑合虎珍や同く、礼扇行徳云尔

汲み下居櫛ふともち教り整初折

みちのやふ羽喰てたの云抄江去白

十二所歳旦組合

と注や、初や、舞や、こミツ痛抄凡又角

あや、新と万端乃笑、草蛙

時トキ食の、送暖氣を梅の歩行、井角

具足餅、茶の、餅、新ミ煮、又角

上下、まを、押、か、固、井角

句、ひ、ま、ま、や、白、梅、う、接、ら、空角

待、松、端、の、髪、は、も、根、よ、竹、飾、井角

け、さ、し、梅、よ、身、し、や、ね、子、空角

梅、う、ま、を、友、は、非、ぬ、の、琴、う、せ、て、草蛙

ねりまの、ま、流、も、連、之、室、を、改

あ、ま、し、卯、角、が、は、毛、初、こ、り、凡、智、者、空角

一、ま、淺、白、の、披、着、日、な、又角

ま、白、な、足、分、れ、て、塔、お、永、也、又角

卯、成、の、ま、長、壽、を、書、の、こ、は、せ、り、草蛙

紙、燭、が、髪、を、作、り、万、歳、艾角

衣、女、持、振、ハ、百、の、目、又角

娘、の、子、う、書、初、を、う、け、て、も、ち、ら

ゆ、り、の、こ、ま、う、う、う、う、の、や、う、な

能、階、し、て、お、ふ、し、と、う、る、

終、く、し、う、な、ま、う、せ、て、綴、り、付、れ、し

終、四、十、四、と、い、る、

一

禮多
 豆の
 た
 られ
 療治よ
 う佐ま
 る
 月
 つ
 薬
 ね
 練つま
 な
 脳痛
 白衣

五
 界
 ひ
 龍皇宋
 あまのき
 時の
 牡丹
 し
 あまの
 い
 世
 初来の
 燭
 火
 寸
 吐
 初
 度
 主
 戸
 龜
 五
 龜

早稲の字をてうー江海原
静よりくふくしほまの風と
ふー初初る利るる

笑ミ初山白の年た手作録 女
山折愛衣事しちな不塗か 与世
を笑や天のほろく代の場 菱角
笑ミ身の幾入万倍下しころの云 志好
正 姜海録 四六八 田 十 十二
ヤニト 虎の原走 市 又角
たきふ夜南のちまき年いぬまの
きくーく又比年とくまのや

歳暮

松葉の馬の尻の毛をけり 全

吟小

うーちの海原と
まのーとく

餘^{カチ}よー^チ一^{イナリ}家^{イナリ}放^{イナリ}蓮^{イナリ}原^{イナリ}の^{イナリ}泣^{イナリ}
家^{イナリ}の^{イナリ}内^{イナリ}侍^{イナリ}可^{イナリ}よ^{イナリ} 鑑^{イナリ}録^{イナリ} 木^{イナリ}穂^{イナリ}白^{イナリ}
白^{イナリ}の^{イナリ}初^{イナリ}あ^{イナリ}に^{イナリ}張^{イナリ}ハ^{イナリ}後^{イナリ}ま^{イナリ}情^{イナリ} 竹^{イナリ}水^{イナリ}
白^{イナリ}の^{イナリ}後^{イナリ}の^{イナリ}ま^{イナリ}る^{イナリ}う^{イナリ}と^{イナリ}雲^{イナリ}物^{イナリ} 月^{イナリ}
まの^{イナリ}は^{イナリ}遠^{イナリ}よ^{イナリ} 南^{イナリ}の^{イナリ}後^{イナリ}申^{イナリ} 全^{イナリ}
集^{イナリ}あ^{イナリ}う^{イナリ}は^{イナリ}喜^{イナリ}う^{イナリ}せ^{イナリ}る^{イナリ} 百^{イナリ}子^{イナリ}母^{イナリ} 全^{イナリ}
浦^{イナリ}清^{イナリ}が^{イナリ}年^{イナリ}よ^{イナリ}う^{イナリ}帰^{イナリ}せ^{イナリ}ぬ^{イナリ}子^{イナリ}の^{イナリ}教^{イナリ} 坊^{イナリ}和^{イナリ}克^{イナリ}
年^{イナリ}柳^{イナリ}の^{イナリ}積^{イナリ}メ^{イナリ}年^{イナリ}玉^{イナリ}の^{イナリ}麻^{イナリ}子^{イナリ}官^{イナリ} 徳^{イナリ}和^{イナリ}撰^{イナリ}
相^{イナリ}い^{イナリ}と^{イナリ}井^{イナリ}の^{イナリ}花^{イナリ}開^{イナリ}初^{イナリ}の^{イナリ}水^{イナリ} 徳^{イナリ}和^{イナリ}撰^{イナリ}
月^{イナリ}の^{イナリ}子^{イナリ}に^{イナリ}里^{イナリ}と^{イナリ}ぐ^{イナリ}れ^{イナリ}寅^{イナリ}の^{イナリ}年^{イナリ} 川^{イナリ}重^{イナリ}

了
事

在取上總國行德住

子の心ぞ三つ
別波は
卯の雲
野月堂
子規子角

日出と玉字と付る物類

船登リヤ
売^{カラ}紅^井
水^ミ炭^ス
不角

予乃上之

ハ起めのしと年ぞ運と番ちろ

指 撲 揚 耳 搖 葩 黃 觥 角

小判解^{ゾウミ}い^ッり^ッ海^{ウミ}老^{ロウ}鴉^ヤ不^フ角^{カク}

えりまかきしり

[illegible]

千手千眼觀世音菩薩

述時花詞

日くも五穀の歩るるる
酉角

紙の白紙の喰う葩剪 全

子夜撫按之感

万葉推し所受てこるん 全

行
之
其
色
論
後
漢
初

今

虎之千里毛步力羽列寒河江九月

えの
エトヤ田
あづの
調
う
半
景角

月 腫 王 膝 下 夏 粉 陶 角

鞅鞅之分別也

一日ノ謀ハ雞鳴ニ有トヤ

曰フ雖百世可知也

七瀬^{シナノ}神^{カミ}と俱^{トモ}の八起^{ハツキ}そ^{シテ}は^ハ角^{カク}

昔^{ムカシ}し^シは^ハ角^{カク}尾^ビ神^{カミ}は^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}

名^ナ平^{ヘイ}し^シは^ハ角^{カク}と^ト名^ナ平^{ヘイ}の^ノ角^{カク}

商人^{カネウリ}八十^{ヤソ}露^ロ筋^{キン}の^ノ角^{カク}

農^{ノウ}ま^マの^ノ角^{カク}甲^{カウ}卿^{ケイ}の^ノ角^{カク}

泥^ニ言^{ゴン}ハ^ハ同^{ドウ}ハ^ハ角^{カク}

ね^ネ師^シま^マは^ハ角^{カク}庄^{サウ}の^ノ角^{カク}角^{カク}

不老^{フロウ}門^{モン}は^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク}

峰^{ホウ}子^シも^モは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク}

か^カら^ラし^シは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}

あ^ア水^{スイ}や^ヤ小^コ町^{トウ}の^ノ角^{カク}角^{カク}

蔵^{ザウ}首^{シュ}脊^{カク}

人^{ジン}年^{ネン}は^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク} 山^{サン}月^{ゲツ}堂^{ドウ} 不^フ變^{ヘン}

年^{ネン}は^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク}

お^オら^ラし^シは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}

一^{イチ}美^{メイ}門^{モン}の^ノ角^{カク}角^{カク}

虎^コの^ノ角^{カク}角^{カク} 角^{カク}角^{カク}

あ^アら^ラし^シは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク} 桃^{トウ}川^{ケン}

さ^サら^ラし^シは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク} 止^チ角^{カク}

之^シ教^{ケウ}の^ノ角^{カク}角^{カク} 陽^{ヤウ}角^{カク}

岡^{オウ}の^ノ角^{カク}角^{カク}

け^ケい^イは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク} 錦^{キン}角^{カク}

い^イろ^ロは^ハ角^{カク}の^ノ角^{カク}角^{カク}

眉^{メイ}根^{ケン}痒^{ヤウ}の^ノ角^{カク}角^{カク} 不^フ秋^{シュ}

韋達天ハ其まゝのし佛在せ京柳角

當年ハ其まゝのし小川角

破ハ其まゝのし小川河

提灯ハ其まゝのし小川河

多ハ其まゝのし小川河

あハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

多ハ其まゝのし小川河

除ハ其まゝのし小川河

進ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

年ハ其まゝのし小川河

大卷軸

逍遙堂遊角述

三物
心の中は紅梅の房宿袋
少くも心と成る路の端
曉月もその名を越え雲を

文彙司全

收書^{カール}神^{ワザ}の勅^{カール}は^{ワザ}注連^{カール}繩^{ワザ}
 乃^{カール}出^{ワザ}し^{ワザ}て^{カール}石^{ワザ}の^{ワザ}神^{カール}の^{ワザ}歌^{カール}
 子^{カール}成^{ワザ}膝^{カール}折^{ワザ}れ^{ワザ}て^{カール}閑^{ワザ}神^{カール}安^{ワザ}

夢想

木と考ふ鳥井と云は
高木所
工角

追加

月夜の病室より 志の秋

和歌の種をまきぬ
子孫の仙貨

研心廣志
卷之五

竹君の事凡の竹や邵の
隨角

東帝以國儀之於抑銀風我

曉月夜風記
丁巳年
隨風

家業漸々廣ク倍々全ク
師父ノ恩ト難有テ
尾崎氏

海防小
工
ト
ニ
ハ
ル
ル
演
考
一
年

市
 也
 難
 矣
 之
 鍋
 之
 橋
 之
 路
 周

2

宮津屋敷

多し焼く煙や月さ初より花泊

けり移り内裏にほゆる所時直梅

印をふつ後さゆのふい腰人

もる頼るれもてあたり窓を清風

かよふもの神文止るの福屋あ

手くちりあや上神の棚全

いあくら

は橋を

年入市園よりより生屋了角

花をのまゆきいなる室の梅真月

斗くく降もくくともくり宿る